

入学試験における出題意図について（2026年度純真学園大学 一般選抜）

■英語

一期、二期ともに長文読解、発音・アクセント問題、文法問題などをバランスよく出題した。基礎的な言語知識を実践的に活用する能力を総合的に評価できる問題を出題した。〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕ともに 450 語程度の長文問題を出題した。与えられた英文を正確に把握し、それに基づいて適切な推測や要約を行う能力を問うた。〔Ⅲ〕は、一期は発音問題、二期はアクセント問題であり、4つの単語から他と発音またはアクセントが異なる語を1つ選択する問題を出題した。リスニングやスピーキング能力の土台となる英語音声の基本構造に対する理解度を測る問題とした。〔Ⅳ〕は適語句選択の形式で、実際の読解やライティングで必要となる言語選択の正確さを問うことを意図して出題した。〔Ⅴ〕は適文選択問題を出題した。教科書範囲の知識を前提としつつ、実際の対話の中でどのように文法が機能するかを見極める問題とした。〔Ⅵ〕は和文付き語順整序問題で、日本語の意味を正確に汲み取り、英語として自然な順序で組み立てる表現力を試す問題を出題した。

■国語

一期、二期ともに2500～3000字程度の評論を二題出題した。文章は、特定の分野に偏らないよう、心理学や科学、美学などのテーマから選んでいる。幅広いテーマからの出題ではあるが、それらの専門的知識の有無にかかわらず、論理的に書かれた文章を読解する力があるかどうかを問うことを意図して作成した。内容読解問題および語句・脱文挿入問題については、本文に書かれていることを正確に読み取り、その内容のみを根拠に解答する力を測ることを目的として作成した。単に傍線部や空欄の周りで解答の根拠を探すだけではなく、段落ごとのつながりや文章全体の内容を理解する力が必要とされる問題を出題している。文章の内容を問う読解問題以外の知識題としては、漢字の読み・書き、漢字の意味、熟語の構成、品詞の知識を問う問題を、幅広く出題した。これらは、知識を単純に暗記しているか否かを問うものではなく、国語を構成する知識を実地に応用する基礎能力として身につけているか否かを問うことを意図して出題している。

■数学Ⅰ・A

一期、二期ともに数学Ⅰ、数学Aの教科書に記載された様々な単元から幅広く出題した。全体を通して、公式を正確に利用するなどの基本的な知識はもちろんのこと、問題文から条件を読み取り、適切な知識や公式を選択する思考力や、複雑な条件を読み取り整理する読解力なども評価する目的で問題を作成した。一期、二期ともに〔Ⅰ〕は数学Ⅰ、数学Aの単元の知識を問う小問を集め、様々な単元から出題した。〔Ⅱ〕は数学Ⅰの2次関数から出題した。前半は知識を問う問題、後半はグラフから条件を導く問題である。〔Ⅲ〕は数学Ⅰの図形と計量から出題した。公式はもちろんのこと、幾何学特有の段階的な計算処理が問われる問題である。〔Ⅳ〕は一期が数学Ⅰのデータの分析、二期が数学Aの数学と人間の活動から出題した。〔Ⅴ〕は数学Aの場合の数と確率から出題した。前半は基本的な知識の定着度を測る問題、後半は前半で得た解法の糸口を活用して解く応用問題である。

■数学Ⅱ・B・C

一期、二期ともに数学Ⅱ、数学B・数学C（ベクトル）の教科書に記載された様々な単元から幅広く出題した。全体を通して、公式を正確に利用するなどの基本的な知識はもちろんのこと、問題文から条件を読み取り、適切な知識や公式を選択する思考力や、計算量が多い問題を手際よく解決する判断力も評価する目的で問題を作成した。一期、二期ともに〔Ⅰ〕は数学Ⅱの単元の知識を問う小問を集め、様々な単元から出題した。〔Ⅱ〕は数学Ⅱの図形と方程式から出題した。前半は知識を問う問題、後半は座標平面上で幾何学の知識を活用し、効率的に計算を進める問題である。〔Ⅲ〕は一期が数学Ⅱの三角関数、二期が数学Ⅱの指数関数と対数関数から出題した。〔Ⅳ〕は数学Ⅱの微分法と積分法から出題した。前半は微分法と積分法の計算問題、後半は方程式とグラフの関係を利用する問題である。〔Ⅴ〕は一期が数学Bの数列、二期が数学Cのベクトルから出題した。

■生物

一期、二期ともに生物基礎、生物の教科書に記載された様々な単元から幅広く出題した。全体を通して、文章を読み取り、関連した複数の分野にわたる基本的な知識や、文中から条件を読み取り、適切な公式を利用して答えを導く思考力を評価する目的で問題を作成した。一期では、〔Ⅰ〕は細胞と代謝について、細胞を構成する元素や細胞の構造、光合成、生体膜における物質の輸送、神経活動から出題した。

〔Ⅱ〕は遺伝や動物の発生について、染色体、減数分裂、組換え、動物の受精と発生から出題した。〔Ⅲ〕は生態系について、物質収支、窒素の循環、里山、植物の環境応答から出題した。二期では、〔Ⅰ〕は酵素や突然変異について、酵素と反応速度、呼吸、遺伝子座と遺伝子頻度から出題した。〔Ⅱ〕は神経や免疫について、刺激と反応、ホルモン、免疫から出題した。〔Ⅲ〕は進化とバイオームについて、進化、植生、世界のバイオーム、生物間の相互作用から出題した。

■化学

一期、二期ともに化学基礎、化学の教科書に記載された様々な単元から幅広く出題した。全体を通して、基本的な知識を問う問題から与えられた条件に基づいて適切な計算ができるかを問う問題まで、広い範囲の学力を評価する目的で問題を作成した。一期では、〔Ⅰ〕は物質の分離、元素、状態変化、物質量和化学反応式から思考力を評価する問題も含めて出題した。〔Ⅱ〕は酸と塩基、電気分解、化学平衡、コロイド、波長、化学反応と熱、結晶の構造から思考力を問う問題も含めて出題した。〔Ⅲ〕は無機物質、有機化合物から出題した。無機物質に関しては、非金属元素、典型金属元素、遷移金属元素からバランスよく出題した。有機化合物に関しては、炭化水素、芳香族化合物、高分子化合物から出題した。二期では、〔Ⅰ〕は元素の周期表、化学結合から出題した。〔Ⅱ〕はエンタルピー、金属の単位格子、化学反応の速さ、酸と塩基、酸化と還元から思考力を問う問題も含めて出題した。〔Ⅲ〕は無機物質、有機化合物から出題した。無機物質に関しては、非金属元素、典型金属元素、金属のイオンからバランスよく出題した。有機化合物に関しては、炭化水素、芳香族化合物、合成樹脂から出題した。

■物理

一期、二期ともに物理基礎、物理の教科書に記載された様々な単元から幅広く出題した。全体を通して、基本的な知識を問う問題から与えられた条件を基に適切な式を選択する問題まで、現象に対する知識を正しくもち、考察が行えるかを評価する目的で問題を作成した。一期では、〔Ⅰ〕は弾性衝突、状態変化、凸レンズ、電気容量、波から出題した。〔Ⅱ〕は力のモーメントとつり合い、円運動から出題した。

〔Ⅲ〕は気体の状態変化、熱量から出題した。〔Ⅳ〕は光の屈折と反射、音の性質から出題した。〔Ⅴ〕は電流と回路、電流と磁場から出題した。二期では、〔Ⅰ〕は重心、熱容量、波、ホイートストンブリッジ、放射線から出題した。〔Ⅱ〕は円運動、ばね振り子から出題した。〔Ⅲ〕は気体の状態変化、気体分子の熱運動から出題した。〔Ⅳ〕は波の反射、光の干渉から出題した。〔Ⅴ〕は電場、電流が磁場から受ける力から出題した。